



自立と誇りある
日本をつくります

自民党衆議院埼玉県第3選挙区（越谷市・草加市）支部長

国を守るために政治がなすべきこと きかわだひとし 黄川田仁志

特集 境界を守ることが国を守ることに繋がる

※きかわだひとしを応援する会 入会のご案内など

きかわだステーション

第 12 号

※『きかステ』と呼んでください！

～国を守るために政治がなすべきこと～

自民党埼玉県第三選挙区支部長の黄川田仁志です。

民主党政権になって、日本の外交・安全保障はボロボロになってしまいました。鳩山政権下で生じた普天間問題によって、日米同盟が揺らぎ、東アジア地域での日米の力が弱まったところに、周辺国が入ってこようと動いています。

中国は太平洋進出の野望をむき出しにし、尖閣周辺での活動を活発化してきています。韓国も竹島にヘリポートを建設するなど実効支配を強化してきています。ロシアも北方領土に戦後初めて大統領が行き、軍港も整備しました。

平和は祈ってればよいというものではありません。各国の微妙なパワーバランスによって、平和は保たれているのです。だからこそ、今、日本には「自分の国は自分で守る」という強い姿勢が必要です。民主党政権は領土問題への対応がほとんど皆無であり、国民の生命と財産を守るべき政治の役割を全く果たしていません。民主党の外交・安全保障への対応に、私は大変に憤っています。

私は、憲法を改正も含めて、「自分の国は自分で守る」ことのできる体制を整えるべきだと考えます。日米同盟関係は維持しつつ、主権国家として、自らの領土と国民を守るための法律や装備をしっかりと整えることは、各国が国益を優先する国際関係の中では当たり前のことです。芯の無い外交・安全保障を続けている限り、国を守ることはできません。

このような話をすると、「あなたは戦争するのですか？」や「平和憲法は日本が世界に誇るものではないですか？」というご意見をいただきます。

私は、日本国民が戦争に巻き込まれないために、「自分の国は自分で守る」ことのできる体制を整えるべきだと考えます。自国の平和と安全は、自らの意志で作りあげていくものです。

日本国憲法が平和憲法として素晴らしいものであったとしても、諸外国が日本国憲法を守る義務はどこにもありません。現に、周辺国による日本の領土や領空、領海への侵犯が毎日のように行われています。それが現実の国際社会です。そのような厳しい駆け引き・パワーバランスの中、国を守る体制を整えることが、国会議員の重要な仕事の1つではないでしょうか。「憲法に平和と書いてあるから平和が守られる」、「アメリカが守ってくれるから大丈夫」等、どこか他人に依存することで、「自分の国は自分で守る」という当たり前の責任を逃れてきた日本。これからの日本の政治は、その大きな責任を自らが果たさなければいけません。政治家各人が覚悟を持ってしっかりと背負い、現実を見据えた外交・安全保障を進めなければなりません。

日本を「自立」と「誇り」ある国にするために、黄川田仁志は、外交・安全保障政策にしっかりと取り組みます。

境界を守ることが国を守ることにつながる ～なぜ領土問題が大切か？～

私は、外交・安全保障政策の中で、特に次の4点について、取り組んでいきたいと考えています。

- 1 自ら動ける安全保障体制への法改正
- 2 外交情報収集のための組織整備
- 3 海上保安庁の体制、人員の増強
- 4 陸上自衛隊に海兵隊機能を付与

その中でも、特徴的なのが、3と4の「海」に関する政策です。埼玉県には海がありませんから、関係ないと思われるかもしれませんが、海や島を守ることが、四方を海に囲まれた日本にとって、とても大切なことなのです。

近年、海上保安庁の役割が増してきております。沿岸に位置する原子力発電所周辺の警備、海外での海賊対策、領海侵犯への対応、拉致防止等のためです。この広い海域と長い海岸を守るには、今の海上保安庁の体制と人員数では不十分です。海上保安庁の人員は約1万3千名しかおらず、装備の高度化や海上自衛隊との連携体制も必要です。

海上保安庁の体制強化は、まさに待ったなしの状態です。

また最近尖閣諸島の問題が話題に上がっていますが、仮に尖閣諸島の島を不法占拠されたとしても、今の日本には独自で島を奪還する能力を持っていません。自衛隊は、領土を奪還するための攻撃力をほとんど持ち合わせていないからです。米軍に頼らず、領土を自ら奪還できるようにするためには、陸上自衛隊の一部に海兵隊と同様の機能を持たせるようにすべきと、私は考えます。

なぜ、竹島や尖閣諸島を守ることが大切なのか。

海域を守るとは、海底に眠る海洋資源や、日本人が日々食している魚介資源を守ることにもつながります。

島を守ることによって日本の海域が守られます。

そして、何より、四方が海という、海洋国家日本の主権を守ることになります。右の地図をご覧ください。

海のない埼玉県に住んでいても、海から日本が侵略されてしまえば、生活に多大な影響が出ることは、もちろんお分かりいただけると思います。

安全保障問題は、日常生活に関係しているように感じないので、関心が無い方も多いです。しかし、日本という国が侵略され、無くなってしまえば、今の私たちの生活が成り立たなくなる。そのことを忘れてはいけません。



日本の領海と主要な島 ※海上保安レポート 2007 より抜粋

～一緒に日本の政治を考え、行動してみませんか？～

きかわだひとしを応援する会 入会のご案内

きかわだひとしの政治理念及び活動に共感し、応援していただける方を募集しております。越谷市または草加市にお住まいの方なら、どなたでもご入会いただけます。入会金・年会費は不要です。会員の皆様には、活動報告等をお届けします。入会を希望される方は、恐れ入りますが、下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。



「自立」と「誇り」ある日本をつくりたい

きかわだひとしを応援する会

〒343-0813 埼玉県越谷市越ヶ谷 2丁目 8-31 Tel 048-962-8005 Fax 048-962-7999

Mail : info@kikawadahitoshi.jp HP : <http://www.kikawadahitoshi.jp>

Blog : <http://ameblo.jp/kikawadahitoshi/> (Ameba 政治家ブログ)

ボランティア大歓迎

きかわだひとしの活動をお手伝いいただける方を募集しております。上記まで連絡願います。

カンパ募集しております！

サラリーマン出身のきかわだひとしの政治活動拡大に向け、皆様からの温かいカンパを募集しております。

きかわだひとしとは？…次期衆議院議員選に向けて活動中。東京理科大学卒、米メリーランド大学大学院修了。松下政経塾出身。元環境コンサルタント。昭和45年生まれ。趣味は剣道・空手・スキューバダイビング・野球・三線